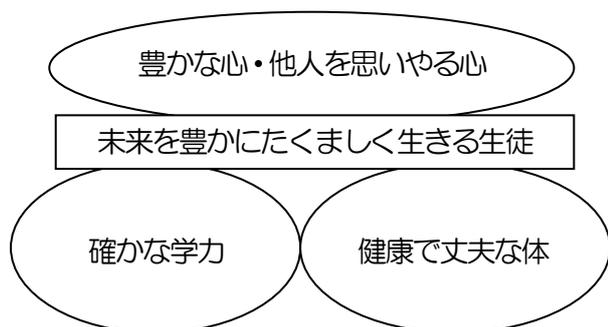


R6年度 教育目標

(1) 本校の教育目標

「命を尊び、夢と希望をもち、未来を豊かにたくましく生きる力を身につけた生徒の育成」



◎校訓 — めざす生徒像

自主（確かな学力）・自ら進んで学び、深く考える生徒
 敬愛（思いやる心）・礼儀正しく、自他を尊重する生徒
 健康（健やかな体）・命を尊び、心と体を鍛える生徒

◎めざす学校像

生徒～学びたい学校
 保護者～学ばせたい学校
 教職員～勤めたい学校

◎めざす教職員像

学び続ける教職員
 協力し合う教職員

(2) 経営方針

教育目標の具現化をめざし、生徒一人一人を大切にした着実で豊かな教育活動を、全教職員が協力して推進する。また、小学校、家庭、地域との連携を大切に、信頼される学校づくりに努める。「我ら西中生」「我ら西中教職員」を合言葉に、「学び合う 認め合う 笑顔あふれる学校」をめざす。

① 確かな学力の育成

ア 「わかる、できる、身につく」授業をめざし、指導法の工夫に努める。

- ・学習のルールやマナー、学習の仕方の定着を図る。
- ・基礎的・基本的な学習内容の定着や、家庭学習の習慣化を図る。

イ 「主体的・対話的で深い学び」をめざして、新聞活用や言語活動、探究的な学習等の研究実践をすすめる。

ウ ICT 端末や電子黒板を活用し、個に応じた学習の研究実践をすすめる。

エ 特別支援教育をはじめ、個別指導・支援の充実を図る。

オ 地域の方から学ぶ会、職場体験学習、上級学校説明会などを実施し、3年間を見通した継続的なキャリア教育の充実を図る。

② 豊かな心、思いやりの心の育成

ア 保護者やSC、心の教室相談員等との連携や、教育相談活動の充実を図り、生徒理解に努めるとともに、集団の中での生徒相互の良好な関わりを通して、自己肯定感や自己有用感を高める。

イ 和やかな中にも秩序があり、健全な価値観に支えられた集団づくりをすすめ、互いを認め尊重し合える人間関係づくりを基盤に、目標に向かって前向きに生活させる。

ウ あいさつ、時間遵守、黙働の習慣化などに努め、基本的な生活習慣を確立させる。

エ 集団や社会との関わりを踏まえた人間関係づくりをすすめる。

- ・学級や学年の活動、学年や学校全体の行事、体験活動、ボランティア活動、生徒会・委員会活動において、自主的、実践的な活動の充実を図る。

オ 生徒の「居場所づくり」「絆づくり」をすすめ、不登校対策に努める。

カ 道徳教育、人権教育、情報モラル教育の充実を図るとともに、「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ対策に努める。

キ 「我ら西中生」を合言葉に、自校への誇りをもたせる。

ク 読書活動の充実を図る。

ケ 諸外国や日本の文化などに触れさせ、国際理解教育の充実を図る。

コ 環境教育の充実を図るとともに、美しく潤いのある環境づくりをすすめる。

③ 健康で丈夫な体づくり

- ア 保健体育の授業や部活動の効率化を図って活動時間を確保し、健康の保持増進と体力の向上に努める。
- イ 「早寝・早起き、朝ごはん」、「メディアコントロール」など、望ましい生活習慣の定着をすすめる。
- ウ 食育の充実を図る。
- エ 健康教育の充実を図る。
- オ 安全教育の充実を図るとともに、けが・事故の防止に努める。

④ 信頼される学校づくり

- ア 校内現職教育や各種研修を通して、指導力の向上を図る。
- イ 学校公開、各種たより、学校ウェブサイトなどを通して、開かれた学校づくりをすすめる。
- ウ 学校評価、学校運営協議会制度を生かし、小学校、家庭、地域との連携をすすめ、教育活動の改善と活性化を図り、特色ある学校づくりをすすめる。
- エ 校内の安全管理体制の充実を図るとともに、家庭・地域と連携し、安全・安心な学校づくりをすすめる。
- オ 学校における働き方改革をすすめ、多忙化解消にかかわる業務改善に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

① 授業力の向上

- ・授業の中で、既習内容の復習や定着のための練習の時間を設定し、基本的な学習内容を身につけられるようにする。
- ・授業や学級での活動の中で新聞を活用し、読み取る力を身につけられるようにする。
- ・言語活動や問題解決の過程を重視した活動により「自ら学ぶ力・活用できる力」の育成に努める。

② 生徒指導の充実

- ・あいさつ、時間遵守、清掃、当番活動、学習のルールやマナー等、基本的な生活習慣の確立に努める。
- ・共感的な人間関係を基盤に、自己決定の場を設定し、承認と励ましにより自己肯定感や自己存在感等の自尊感情を高める。
- ・「聴く姿勢」を大切にし、教育相談活動の充実を図るとともに、情報を共有して生徒理解に努め、組織的な対応を行う。
- ・「西成中学校区ケータイ・スマホ3カ条」の活用などで情報モラル指導を進めるとともに、いじめ・不登校の早期発見・対応に努める。

③ 道徳教育の充実

- ・道徳教育の研究を組織的にすすめ、道徳科の授業改善に努める。

④ 特別活動の充実

- ・「我ら西中生」を合言葉に自校への誇りをもたせ、学級・学年活動、学年・学校行事、生徒会・委員会活動などの自主的、実践的な活動をすすめ、自己実現や社会参画の意識を高める。

⑤ 信頼される学校づくりの推進

- ・PTA、学校運営協議会、地域づくり協議会などとの連携・協働に努める。
- ・学校公開、各種たより、学校ウェブサイトの充実を努める。
- ・生徒、保護者、教職員の評価アンケートを計画的に実施し、教育活動の改善に努める。
- ・業務の改善やスリム化を図り、教職員の働き方改革を推進する。